

東京農工大学 大学院農学研究院 共生持続社会学部門 専任講師公募

東京農工大学大学院農学研究院共生持続社会学部門では、以下の要領で専任講師を公募します。

1. 募集人員 専任講師 1名
2. 着任時期 2016年4月1日
3. 任期 なし
4. 専門分野 教育研究分野 フィールドワークをもとに農山漁村を対象とした実証的な教育研究を社会学・民俗学・文化人類学の観点から行うことのできる方
5. 教育担当
〔大学院〕：農村社会学特論、共生持続社会学特別研究、共生持続社会学特別演習等。
〔学部〕：社会学、農村社会論（ただし2017年度から。2016年度は生業民俗学）、農の共生学（分担）、地域社会システム計画論（分担）、地域生態システム学セミナー（分担）、地域生態システム学特別演習、卒業論文等。
6. 応募資格
 - (1) 博士の学位を有すること。
 - (2) 大学や研究機関等で教育・研究に従事した経験を有し、大学院生に対して教育・研究指導を行うことができること。
 - (3) 職域業務や社会貢献を積極的に担えること。
 - (4) 国際的視野（英語活用能力）を持った者が望ましい。
 - (5) 国籍は問わない。ただし、日本語での授業が可能なこと。
7. 勤務地
東京農工大学 府中キャンパス（ただし、小金井キャンパスでの授業もあります。）
8. 勤務形態・待遇
東京農工大学大学院農学研究院共生持続社会学部門所属。同時に教育単位としては大学院農学府共生持続社会学専攻所属。専任。就業条件・勤務態様・給与は本学規定による。
9. 提出書類
 - (1) 履歴書1部（書式自由。ただし写真添付のこと。連絡先として、住所・電話番号に加え、電子メールアドレスを明記のこと）
 - (2) 研究・教育業績リスト 1部

①様式は任意。原著論文（査読の有無を明記）、総説、著書、国内外シンポジウム等発表（招待講演の有無を明記）などに分けて記載。

②所属学会・役員、教育実績、社会貢献活動、受賞、などについても記載。

主要業績3点（抜刷またはコピーでも可）

(3) これまでの研究概要と着任後の研究計画（2,000字程度）

(4) これまでの教育経験と着任後の教育に関する抱負（2,000字程度）

(5) 応募者の業績・人物等について照会できる方2名の氏名と連絡先（所属・住所・電話番号・メールアドレス）を記したものを

10. 応募締切 2015年10月31日（土）消印有効

11. 応募書類

封筒の表に「共生持続社会学専攻教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送してください。応募書類（業績等も含む）は返却しません。（ただし、主要業績のうち書籍の返却を希望する方は、切手又は着払い伝票を貼付し宛先住所・氏名を記した返信用封筒を同封してください。）

12. 選考手順

書類選考後、面接を経て決定します。面接の際に要する費用等は応募者の負担となりますので、あらかじめご了承ください。また、書類審査および面接選考結果の通知を含めて、選考に関する連絡は原則、電子メールで行います。

13. 問合せ先・書類提出先

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学農学部地域生態システム学科 高橋美貴

E-mail : yoshitak@cc.tuat.ac.jp

※メール送信時には、メール件名に「共生持続社会学専攻教員応募について」と記載してください。